

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

事業名 中小企業販路開拓等緊急支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内 3094)

E-mail：c11355@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 257,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	257,000	257,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、幅広い産業において業績に悪影響が出ている中、県内の地場産業を支える製造業についても状況は悪化しており、コロナ関連の廃業・倒産も発生している。こうした状況を踏まえ、地場産業を支える中小企業の再起を支援し、毀損した地域経済の持続可能性の回復を図る必要がある。

(2) 事業内容

地場産業の中小企業、産地組合等による販路開拓や商品開発・改良等に向けた取組みに対し助成を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

新型コロナウイルス感染症に係る緊急経済対策費用である。

(4) 類似事業の有無

無

<補助金の概要>

○見本市開催・展示分

補助対象事業	補助対象者	補助率	補助上限
・見本市（海外、国内）への出展 ・フェア（海外、国内）の開催 （ECサイト含む） ※連携体構成員間の取引により生じる経費は対象外	中小企業者	補助対象経費の2/3以内	最大 200 万円
	産地組合、実行委員会、連携体等		最大 500 万円

○担い手育成、商品開発・改良分

補助対象事業	補助対象者	補助率	補助上限
・担い手育成 ・商品開発・改良	・中小企業者 ・産地組合、実行委員会、連携体等	補助対象経費の2/3以内	上限：500万円

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	257,000	・見本市（海外、国内）への出展、フェア（海外、国内）開催 ・担い手育成、商品開発・改良
合計	257,000	

決定額の考え方

（１）各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」

[3]海外展開・販路拡大支援プロジェクト

（１）中小企業の海外展開チャレンジ支援

（２）国内におけるビジネスチャンスの提供

（２）国・他県の状況

国や各自治体において、中小企業や産地組合等による販路開拓に向けた支援を実施している。

(3) 後年度の財政負担

中小企業や産地組合等が、早期に新型コロナウイルスの影響を脱却するには、販路拡大と商品改良のサイクルを回し、事業を磨き上げていくという、企業の自主的な取組みを早期に再起動させることが必要なため、今年度までの集中的支援を行う。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業者による販路開拓等の取組みを支援することで、事業者の自立を促進し、ひいては地場産業の活性化が期待できる。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	中小企業販路開拓等緊急支援事業費補助金
補助事業者 (団体)	中小企業、産地組合・連携体等 (理由) 新型コロナウイルスによる影響から早期に脱却し、中小企業、産地組合等の販路開拓に向けた支援を行うことが必要。
補助事業の概要	(目的) 地場産業の中小企業、産地組合等が主体となって取り組む販路開拓を支援する。 (内容) 見本市への出展・フェア開催、担い手育成、商品開発・改良等の経費の一部を補助
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他(例:人件費相当額) (内容) 補助対象経費の2/3を上限として補助(補助上限額の設定あり) (理由) 補助事業者に一定割合の負担を求める。
補助効果	新型コロナウイルスの影響からの早期の脱却
終期の設定	終期 令和3年度 (理由) 中小企業や産地組合等が、早期にコロナウイルスの影響を脱却するには、集中的支援により販路開拓を再起動させることが必要。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>地域ブランドの育成や県産品の市場の拡大を図り、ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくりを目指す。</p>
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (H31年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
① 補助採択件数	/	120件	/

	H28年度	H29年度	30年度	R1年度	R2年度 (要求)
補助金交付実績	/	/	/	/	(要求額) 257,000千円
指標①目標	/	/	/	/	120件
指標①実績	/	/	/	/	(推計値)
指標①達成率	/	/	/	/	(推計値) %

(前年度の成果)

--

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルスの影響からの早期の脱却
--

(事業の評価)

・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	企業からの要望に沿った内容であり、県の関与は妥当。
・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	商品開発や展示会開催・出展等の支援を通じ、コロナ禍において売上減に苦しむ地場産業事業者に対し、販路開拓の取組みを継続支援することができている。
・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	補助金の目的を十分に説明し、事業を見直しながら効率的な支援を行っていく。

(事業の見直し検討)

--

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止 (理由)
